

緊急提言に向けた WG 主幹事による自主的打ち合わせ 議論のまとめ

【開催概要】

日時：2010 年 3 月 29 日（月）8:10～10:15 場所：日本経団連会議室

【参加者】

斉藤、池田、網野（経団連）、倉津（東京商工会議所）、古谷（NACS）
加来、川島（連合）、関（損保ジャパン）、菊池（大和投資信託）
田尻、新田（日本 NPO センター）岩附（ACE）、黒田（CSO ネットワーク）
田和（内閣府）、川島（消費者庁）

【議論のまとめ】

- ・ 5 月の連休明けに、「緊急アピール」を発信してはどうか。
- ・ 「緊急アピール」の内容は、3～4 枚程度のものとし、以下を盛り込む案を考えてはどうか。
 - 1) 本円卓会議の仕組みと意義
 - ※設立趣意書と作業計画を基に、一般にも分かりやすい文章で作成。
 - 2) 具体的な協働の取組
 - 3) WG 設立と今後の検討内容
- ・ 総会及び総合戦略部会の合同会議を 5 月の連休明けに開催し、緊急アピール、改定作業計画等の採択を目指すことでいかがか。その際、本会議の存在をアピールできるよう、よりオープンな形とする方針とし、シンポジウムなどを開催するのも一案。
- ・ 各WG設立は、合同会議で決定することも含め、今後の段取りについて第9回運営委員会で検討してはどうか。
- ・ 現在の長い円卓会議の名称を国民にわかりやすい名称とすることも検討してはどうか。
- ・ 4 月中旬に次回運営委員会を開催し、合同会議に上げるための「緊急アピール案」「改定作業計画(案)」の了承を得る必要があるのではないか。

以上。